

沖縄県高校部活生メッセージ2023

変えよう部活、変えよう未来

ブカツの良いところ

- 仲間とコミュニケーションがとれ縛を深めることができる
- 仲間と切磋琢磨することで自分自身も成長できる
- 上下関係など礼儀を学ぶことができる

困っているところ

- 指導者に自分の意見が言いづらい
- 勉強との両立が難しい
- 指導者同士の指導方針の違いで戸惑う

指導者へ

- 私たちとコミュニケーションをとりやすい環境を作ってほしい
- 私たちの意見が尊重されるチームと一緒に作りたい
- 私たちは人形ではない、理不尽な指導をやめてほしい
- 互いで決めた目標に向かってハラスメントのない指導をしてほしい
- 同じチーム内での指導者同士の指導方針の違いを無くしてほしい

部活仲間へ

- 先輩後輩関係なく、悩みがあれば相談しあおう
- 互いに切磋琢磨しながら成長していく
- 支えてもらっているすべての方に感謝し日々取り組んでいく
- 自分の発言で仲間が傷ついていないか考え、ポジティブな発言を心がけよう

学校へ

- 私たちが安心して活動できる安全な環境を作ってほしい
- 指導者を集めて、指導方法を改めて確認してほしい
- 定期的に部活動のハラスメント実態調査を実施してほしい
- 小さなことでも隠さずにすぐ対応し、文武両道を目指せる学校を作ってほしい

保護者へ

- 私たちの成長を見守ってほしい
- 私たちの部活動に関心をもってほしい
- 私たちの声に耳を傾けてほしい
- 私たちの味方でいてほしい

通常の学校部活動における「相談」は、

下記において随時、対応しています。どうぞご利用ください。電話対応は土日祝日除く平日 9:00~17:00

県教育庁 保健体育課(運動部活動)	aa316008@pref.okinawa.lg.jp	098-866-2726
県教育庁 文化財課(文化部活動)	aa318005@pref.okinawa.lg.jp	098-866-2731
県高等学校体育連盟(高校運動部)	kotairen@cello.ocn.ne.jp	098-851-8421
県中学校体育連盟(中学校運動部)	o-chutai@alto.ocn.ne.jp	098-996-1962
県高等学校文化連盟(高校文化部)	okikoubunren@as.open.ed.jp	098-943-9613
県中学校文化連盟(中学校文化部)	o-chubun@chorus.ocn.ne.jp	098-988-3123
県高等学校野球連盟(高校野球部)	5589ohbf@kouyaren-okinawa.jp	098-890-3158



沖縄は、県外大会の遠征に沢山の費用がかかります。
経済的な理由で
遠征を諦める子がいるという現実があります。

そんな部活動の遠征費にかかる課題解決のため
このフリーマガジンは誕生しました。

コドモ達が健やかに豊かに
育つことのできる社会であるために。

私たちにできることから
沖縄のコドモたちの活動を
応援しています。



たいようの Fight!

沖縄の子育てを
応援するフリーマガジン
たいようのえくぼ



▶年3回発行(3月/7月/11月)
▶配布先
県内ファミリーマート、沖縄銀行、
すこやか薬局、子育て支援センター
児童館、公共施設など



HPから
全ページ
閲覧
できます♪



Contents

SPECIAL FEATURE

沖縄尚学優勝おめでとう特集

CLUB INTRODUCTION

首里高等学校 なぎなた部

興南高等学校 写真部

MOSTRO FSC

琉球大学附属小学校 男子ミニバスケットボール部

宜野湾署スポーツ少年団 柔道部

鍊磨会

真志喜中学校 女子バスケットボール部

嘉手納クラブ

OTHERS

みんなの目標

たいようのNews!

部活生へオススメ本

編集後記

たいようの

沖縄の部活動を応援するフリーマガジン

Fight!



スッパイマン
Sony Music Artists Inc.

歌・ダンス・演技で
夢を掴みたいティーン募集中!

あまざっぱい青春オーディション

<https://www.sma-audition.com/amasupaiman/>

沖縄尚学 優勝 第107回全国高校野球選手権大会 おめでとうございます!!!!!!!!!!



●沖縄尚学 夏の甲子園初優勝!

第107回全国高校野球選手権大会で、沖縄尚学が見事初優勝を果たした。堅実な守備と力強い打撃で勝ち進み、沖縄県勢としては興南以来15年ぶりの栄冠。選手たちのひたむきなプレーが全国の舞台で輝き、沖縄に大きな感動と喜びを届けた。

【第107回 全国高等学校野球選手権 沖縄大会】 2025年6月14日～7月13日

出場校／沖縄尚学、糸満、ウェルネス、嘉手納、首里、那覇南5連(那覇工・真和志・開邦・豊見南・南部農)、辺土名、首里東、宜野湾、具商、与勝、浦添、豊見城、美来工、興南、普天間、前原、沖水、美里工、中部農、向陽、南部工、コザ、宮古総工、小禄、陽明、那覇商、球陽、八商工、エナジック、沖高專、沖カトリック、具志川、八重山、読谷、中部商、名護、北山、石川、北中城、名護商工、昭葉附、南風原、宜野座、本部、久米島、宮古、沖縄工、西原、那覇、浦添商、知念、美里、KBC、那覇国西、八重農、北谷、浦添工



首里高校 なぎなた部

最強の挑戦者!

県内でも数少ない「競技なぎなた」に取り組む首里高校なぎなた部。高校からなぎなたを始める人が多いにも関わらず、全国大会にも出場する強豪だ。なぎなたの魅力について、部員や顧問の先生からお話をお聞きした。

◎礼儀と技を磨く

「なぎなたは特殊なスポーツ。武道もあるので、高校で初めてなぎなたを始める生徒には、今までやっていたスポーツ（バドミントンやバレーボールなど）に例えて伝えるなどの工夫している」と、指導にあたる栄野川先生が話してくれた。日本の伝統武道の一つで、勝敗を競うだけでなく、美しい所作や礼儀作法を大切にするのがなぎなたの特徴。技を終えた後も気を抜かないという意味の「残心」にも気を配る。



◎継続は力なり

令和7年度の高校総体では団体2位、個人と演技競技でも複数名が上位に入る首里高校なぎなた部。伝統ある強豪校だが、「最強の挑戦者」というスローガンを掲げる。主将の宮平さんは「常に挑戦者という気持ちで取り組み、全国制覇を目指しています」と力強く話してくれた。「続けることが自信と強さに繋がる」と、清掃活動や基礎練習にも手を抜かない。その成果が実り、全国大会でも大躍進を果たした。首里高校なぎなた部、Fight!



写真甲子園に挑戦!

興南高校
写真部

写真甲子園2025年の予選に出場した興南高校写真部。創部してから初となる、1次予選を突破。貴重な二次予選の様子を取材した。オンライン審査で緊張感も漂う中、見事なプレゼンを披露した3名にお話をお聞きした。

◎写真甲子園への道

興南高校写真部の活動は不定期。そのため、他の部活動と兼部している生徒も多く、部長は2名体制をとっている。バドミントン部で副部長を務める宮城さんと、吹奏楽部で副部長の新垣さんが写真部の部長として力を合わせる。写真甲子園は、3名1チームで出場。今回は部長の2名と2年生の我那霸さんでチームを結成。出されたお題に基づいてテーマを決め、8枚の写真を提出。構図・構成にこだわった作品で、見事1次予選を突破した。



◎自由さが魅力

2次予選となるオンライン審査では、作品に込めた想いや構図についてそれぞれ説明をする。テーマについて深く考え、よく話しあってきた事が伺える内容だった。残念ながら2次予選突破と全国大会出場には届かなかったが、予選を終えて清々しい表情の3名。反省点を振り返りながら、他校の作品を鑑賞していた。部長の新垣さんは「写真を通して、自分の見ている世界や視点を共有できるのが魅力」と笑顔で話してくれた。興南高校写真部、Fight!





MOSTORO FSC

誰ひとり
置いていかない!

2025年4月、新たに開校したジュニアサッカークラブのMOSTORO(モストロ)FSC。浦添市や宜野湾市を拠点に、小学生男女十数名が練習に励んでいる。チームへの想いや指導方針についてお話を聞きました。

●不得意でも上達できる環境

10年以上、サッカーの指導に携わる上原康之さんを監督としてスタートしたMOSTORO FSC。上原監督は「誰ひとりとして見落とさない」指導を心がけているという。長年様々なサッカーチームを見てきて、上手な選手にフォーカスして指導しがちな中、不得意な子にも同じように指導していきたいという想いで子ども達に接する。練習では、幼稚園から小学6年生までの子ども達が笑顔でボールを追いかける姿が見られた。



●化けるチーム

チーム名の「MOSTORO(モストロ)」は、イタリア語で「化ける」という意味。一皮むける、成長するという想いが込められている。6年生の屋宜わかばさんは、「仲の良いチーム。入ってからドリブルが上達したと思う。もっとドリブルやパスを教えて欲しい」と意気込みたっぷりに話してくれた。今後は県大会でも実力を発揮できるチームへと化けそうだ。MOSTORO FSC、Fight!



フェアプレイ精神!

琉球大学附属小学校 男子ミニバスケットボール部

琉球大学教育学部附属小学校(以下、琉大附属小学校)の男子ミニバスケットボール部は、3年生から6年生の29名が在籍。明るい声が響きわたるチームに、日頃の取り組みや今後の目標についてお聞きしました。

●感謝の心を忘れずに

「友情、ほほえみ、フェアプレイ精神」をスローガンに掲げ、日々の練習に取り組む琉大附属小学校男子バスケ部。キャプテンの山川一心さんは「チームの良いところは明るいところ。練習でも試合でも、声をかけあうことを心がけています」と話してくれた。琉大附属小学校以外の小学校からのメンバーもいるなか、チームワークはピカイチ。部員たちは荷物や靴を並べるなど、コートの外でも礼儀やマナー、感謝を忘れない。



●目標は全国優勝

山川キャプテンは「今後の目標は、全国大会優勝」と力強く話す。練習では、ドリブルやバス、シュートなどの基礎をしっかりと身につけることから始め、学年をこえて声を掛け合いながらチームプレーを学んでいる。保護者たちも練習や大会でのサポートを惜しまず、コドモたちの頑張りを温かく見守る。コドモたち・保護者・指導者が一体となり、ともに成長していく姿が魅力だ。これからも挑戦を続ける琉大附属小学校男子バスケ部、Fight!



宜野湾署スポーツ少年団 柔道部

今を一生懸命!

2024年4月から新体制となり、監督1名、コーチ6名、計7名の指導者陣で柔道を教えている宜野湾署スポーツ少年団柔道部。5歳から小学6年生の男女36名が在籍している。柔道部の魅力などについてお話を聞いた。

●オンとオフをしっかりと

宜野湾署スポーツ少年団柔道部の稽古の場では「礼に始まり礼に終わる」の精神を大切にし、技術の習得はもちろん、礼儀や仲間を思いやる心も育まれる。オンオフの切り替えを大切にしており、稽古中は真剣そのもので集中した顔つきの指導者やコドモ達も、稽古終わると笑顔で和気あいあいとした雰囲気に。稽古以外でも、スマウ大会やカチャーシー大会に参加するなど、地域活動にも積極的に参加する。



●歴代最高成績

数々の大会に挑み、県内外で着実に実績を重ねる宜野湾署スポーツ少年団柔道部。8月に開催された新報児童オリンピックでは優勝4名、準優勝4名、3位が4名と12名が表彰台に上がる快挙を達成。これは歴代最高成績。金城監督は「次は団体優勝目指して頑張ります」と意気込む。インスタグラムを活用して広報も行うなど、多方面でコドモ達を盛り上げる。宜野湾署スポーツ少年団柔道部、Fight!



GINOWAN.JUDO



己に勝つ!

鍊磨会

南城市にある大里北児童館で日々稽古に取り組む少年剣道教室の鍊磨会。2024年度は島尻地区の大会で優勝し、その実力を発揮。鍊磨会の魅力や今後の目標について監督やコドモ達にお話を聞きました。

●技を磨き、人を磨く

クラブ名にある「鍊磨」には“技を磨き、人を磨く”という意味が込められている。その名の通り、稽古では基本を徹底し、技術だけではなく心も鍛える場に。主将を務める6年生の城間侑真さんは鍊磨会の良いところについて「道場に入った時はお互い言い合っているけど、道場を出たらみんな仲が良いところ」と話し、切磋琢磨しながら仲間との絆を深めている様子が伺えた。主将として、みんなをまとめようと日々奮闘している。



●大きく・正しく・強く

鍊磨会には市内外の複数の小学校からコドモたちが集まり、学年や所属を超えて共に汗を流す。また、地域の中学生や高校生と一緒に稽古をする機会もあり、年上の先輩たちから大きな刺激を受けながら力を伸ばしている。小学生にとって憧れの存在と稽古を重ねることで、技術はもちろん、気持ちの強さも磨かれている。今後は「全国大会へ」という目標を胸に、竹刀の音を響かせながら前進を続けていく。鍊磨会、Fight!





Basketball

真志喜中学校 女子バスケットボール部

走って、繋いで
全員でたたかう!

コートの上でも学校生活でも「チームワーク」を大切にする真志喜中学校女子バスケットボール部。基礎を大切にしながら成長を続けている。チームの魅力や取り組みについて、キャプテンや部員にお話を聞きました。

●朝は清掃活動も

真志喜中学校女子バスケットボール部は、「走って、つないで、全員で戦う」チームスタイルを大切に活動している。日々の練習では基礎から丁寧に取り組み、一人ひとりの力を伸ばし、チーム全体の強さ向上を目指す。また、コートの上だけでなく、礼儀や感謝の気持ちも大切にし、人間性を育てることも目標のひとつ。毎週月曜日は朝の清掃活動にも積極的に取り組むなど、学校の模範となるよう努力している。



●強い絆

「意見がぶつかったり、雰囲気が悪くなることがあっても、練習や試合の後には“このチームでよかった”と思える」とキャプテンのりおさんが話してくれた。「顧問の仲松先生は私たちの事をよく見て考えていて全力で指導してくれるのを感じています」と、監督にも信頼を寄せている。先輩・後輩の仲も良い。学年を超えて支え合いながら練習に励み、一致団結して公式戦へ。絆が輝く真志喜中学校女子バスケットボール部、Fight!



Volleyball

ONE FOR ALL!
ALL FOR ONE!

嘉手納クラブ

男子8名、女子16名の24名が在籍するバレーボールチーム、嘉手納小クラブ。今年度から指導者も新たに、新体制で練習に取り組む。監督や部員に、バレーボールの魅力や今後の目標などをお聞きした。

●レシーブが上達

今年度から、平日の指導者不在を埋めるため、琉球ブルーシーズの選手が指導にきてくれることに。バレーボールの基本でもあるレシーブ練習を、プロの選手に教わりながら取り組んだ結果、レシーブが上達してきたという。頭にタオルを乗せながらレシーブするなど、練習方法も工夫がされており、コドモ達も楽しそうにボールを追いかける。監督の金城睦弥さんも「楽しくやって欲しい」と話し、チーム全体が和やかな雰囲気。



●みんなで一つのボールを追いかける

キャプテンを務める田崎心結さんに、嘉手納クラブの魅力について尋ねると「みんな元気で仲が良いところ」と笑顔で答えてくれた。今後の課題は、声をかけあってチームワークを出すこと。そのためには、1人ひとりが上達していくことが大切だという。バレーボールの魅力については「みんなで一つのボールを落とさないようにするのが面白い」と話す。今後の目標は、公式戦で一つでも多く勝つこと。嘉手納クラブ、Fight!

あなたの目標は何ですか？

What is your goal from now on?



小さな積み重ねが大きな成果につながるよ



あなたの目標は何ですか？

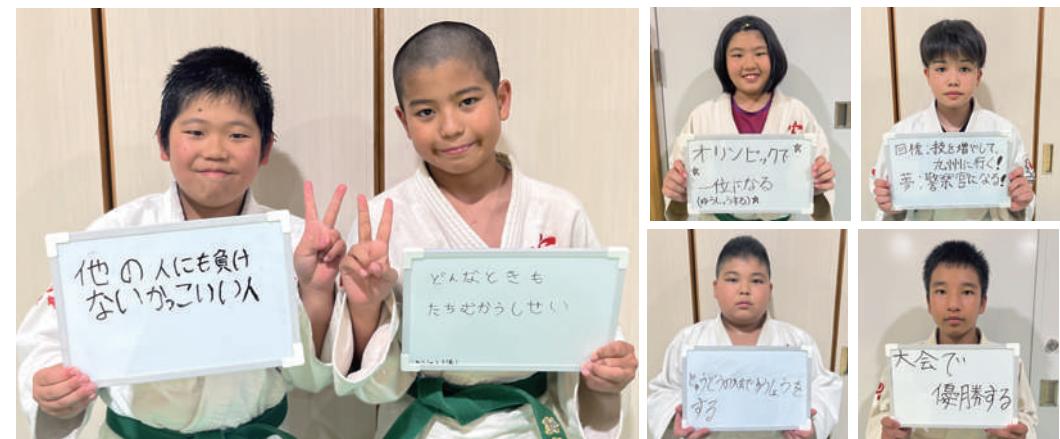
What is your goal from now on?



私達は沖縄県の未来ある子どもたちの応援団です
がんばれ！沖縄っ子！



ワールド リスト



失敗したって大丈夫、挑戦してる時点でカッコいいぞ



あなたの目標は何ですか？

What is your goal from now on?



宜野湾スポーツ接骨院

ginowan sports lab



公式LINE



ホームページ



TEL 098-975-9074

仲間と力をあわせれば、一人では届かないところへ行ける



「沖縄のすべての学校の校歌」を、
「だれもがいつでも楽しめる形」で
残したい! というプロジェクトです。
詳しくはこちら▶



あなたの目標は何ですか？



たのよう News!



高校3年生の為の新リーグ誕生！

2025年8月2日～8月8日(金)の期間、嘉手納球場で「ジャパンサマーリーグ2025」が開催された。このリーグは、甲子園出場を逃した高校3年生を中心にリーグ戦を行うもの。全国から約40名の選手が集い、本気の試合やレベルアッププログラムに取り組んだ。

陽の目を見ない場所に光を

ジャパンサマーリーグの理念は、甲子園などの大舞台に立つ機会を得られなかった選手に新たな活躍の場を提供すること。高校野球の集大成を、もう一度全力で発揮できる舞台として注目されている。



沖縄野球取材
タケスポ



baseball.o324



mi_canon33

部活生に おすすめ本

練習や試合で忙しい毎日。そんな合間に、本を開いてみませんか。仲間との絆を描いた物語や、挑戦する勇気をくれる一冊は、きっと部活生のあなたの背中を押してくれるはず。



くちびるに歌を

著／中田 永一
小学館文庫

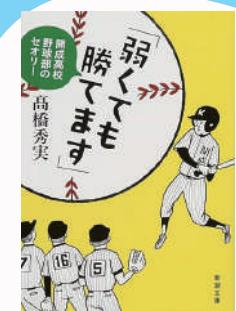
中学の合唱部を舞台にした青春小説。友情や恋心、家族への思いがあふれるストーリー。映画化もされている。



誰がために鐘を鳴らす

著／山本 幸久
角川文庫

廃校が決まっている高校で4人の男子高校生がハンドベル部を創設する笑って泣ける青春物語。



弱くても勝てます

開成高校野球部のセオリー

著／高橋 秀実
新潮文庫

傑作ノンフィクション。「勝つためにはどうすれば良いか」を考えている人におすすめの一冊。



僕らのごはんは明日で待ってる

著／瀬尾まいこ
幻冬舎文庫

一緒に食べるごはんは、ただの食事じゃなくて心をつなぐ大切な時間。恋のときめきと切なさ、そして「誰かと食べる幸せ」をやさしく描いた青春ラブストーリー。読み終わったあと、きっと誰かとごはんを食べたくなる一冊



私たち沖縄のこども達を応援しています!



有限会社 上原興産

総合不動産 沖縄県知事 (3)2950



有限会社 農業生産法人

やんばるファーム

農業生産法人
有限会社 沖縄森林環境農園

編集部員 募集!

一緒にフリーマガジンを作つませんか?

フリーマガジン「たいようのFight!」では、誌面づくりと一緒に楽しんでくれるボランティアスタッフを募集しています。経験がなくても大歓迎!編集部がサポートします。「文章を書くのが好き」「写真を撮るのが好き」「地元のチームをもっと知りたい」そんな気持ちがあればOKです。お気軽にお問い合わせください♪

\ 沖縄の部活動をもっと面白く♪ /



募集内容

- 取材の同行、記事の執筆
- 写真撮影
- デザインや校正のお手伝い
- 配布サポートなど
- 月に1~2回のミーティング(オンライン参加もOK)
- 都合があれば取材などに同行(継続して活動頂ける方にはオリジナル名刺をお渡しします)

活動内容

- メディア活動をしてみたい
- 実績を形に残したい
中高生~大学、専門学生

応募方法

電話、メールまたは
SNSのDMにてご連絡ください

090-6861-4241(担当:翁長)

たいようの Fight!

一緒にコドモ達を応援しませんか?

この冊子制作は、企業・店舗の皆様のご協力により支えられています。
多くの掲載・発行を叶えるため、スポンサーとなつてくださる企業や
冊子設置協力店を募集中です。ぜひご協力をよろしくお願いします。

taiyonofight@gmail.com

■年3回 1月・5月・9月発行
■県内小中学校・高校等へ配布
部活動の取材・掲載は無料です。
取材のご依頼はメールまたは
SNSのDMからご連絡ください。

次号
2026年1月頃
発行予定



HP

LINE

Facebook

Instagram

編集後期



ディレクション
仲村優香

沖縄尚が甲子園優勝で
沖縄中が熱く盛り上がり、
県内の部活に打ち込む子ど
も達の励みになりました!
また大人である私も「努力は
実になる」と改めて勉強
させてもらいました♪沖縄の
部活がもっともっと活躍できるよう、

たいようのFight!も発行し続けていきます。

今号も無事に発行でき、ご協力
いただいた皆様に感謝です。
高校野球がたくさんの方から
応援されているように、どの
年代、どの種目でも、頑張って
いる子ども達は応援される価値
があります。今は注目されてない
子達もどんどん取材して、応援
する媒体にしていきたいと思いますので、今後も
「たいようのFight!」をよろしくお願いします。



二代目編集長
翁長奈七



カメラマン
比嘉真理子

今回は少しだけ参加しました。レンズ越しに出会えた笑顔が宝物です♪

SPECIAL THANKS

沖縄県教育委員会
沖縄県スポーツ協会
沖縄県障がいスポーツ協会
高校体育連盟
中学校体育連盟
みらいファンド沖縄
イオン那覇店
株式会社hais
秋田の高校野球
(順不同・敬称略)